

②

手にバイキングがいったばい見えてきました。

(ヒカルくん) 「うわぁ〜バイキングがいったー！」

(ハサップマン) 「そっだろ？バイキングはいろんなところに

隠れているんだ。

バイキングがついたものをたべてしまつて

おなかがつっごく痛くなってしまうんだよ。

おうちについたらすぐに石けんを使ってきち

んと手を洗おうね。」

(ヒカルくん) 「うん、わかったー！」

演出ノート

驚いた様子で



3

演出ノート

(ヒカルくん) 「ただいま〜!」

(ハサップマン) 「じゃあ、洗面所に行こう!」

めいろう

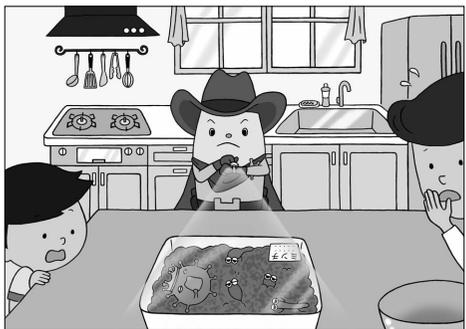
はじめにお水で手をぬらし、石けんをつけてあわあわにします。  
指の間や先っぽまでしっかりと洗っていきます。  
そしてまたお水で洗い流します。  
すげー、

(バイキングー) 「ウ、ウワァア〜!」

バイキングーはあわと一緒に流れていきました。

(ヒカルくん) 「これでもう安心だね」

(ハサップマン) 「うん。最後はキレイなタオルで手をふこうね」。



4

手がすっかりきれいになり、キッチンにやってきました。  
テーブルの上にはお肉のミンチが置いてあります。

（ハサップマン） 「お肉のミンチはずっとここに置いてたの？

きつとあたたくくなってしまっているよ。

バイキングが目を覚ましたかもしれないね。  
見ててごらん！」

そう言っってハサップマンがバイキングウォッチャーで光を当てると、  
またまたバイキングがいっぱいです。  
みんなねむそうにしているので起きたところのようです。

（バイキングー） 「ふあぁ～よくねた〜。

よーし、分身の術で仲間を増やして  
おなかを痛くしてやるつか」。

（ヒカルくん） 「わぁーたいへんだー！

ハサップマンどっしつよー！

演出ノート

眠そうに



⑤

演出ノート

（ハサップマン） 「ほくまかせてーくらえークールエアーだー！」

クールエアーはたべものをすぐに冷たくできるハサップマン自慢の銃です。

（バイキング） 「ウギャー。さむいよー。

力がぬけていく…。」

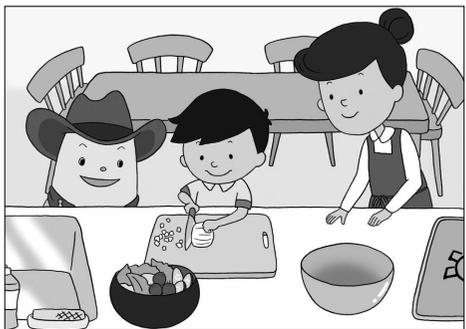
バイキングはだんだん力が入らなくなって、そしてねむってしまいました。

（ハサップマン） 「バイキングはさむいとねむってしまっんだ。

ねむっている間は分身の術が使えないんだよ。

よし、今のうちに冷蔵庫にいれておこう。」

だんだん  
弱弱しく



6

演出ノート

(ピカルくん) 「じゃあ、料理を始めよう。」

まずはサラダ、そしてスープと順番に作っていきます。

(ピカルくん) 「次はハンバーグだー！」

たまねぎを切って、いためてから冷まします。

さっき冷蔵庫にいたお肉のミンチを出して、たまねぎと混ぜて

味をつけ、たまごもいれました。  
丸い形にして、あとはフライパンで焼くだけです。  
ところが…

(おかあさん) 「あれ？ケチャップがないわよっ。」

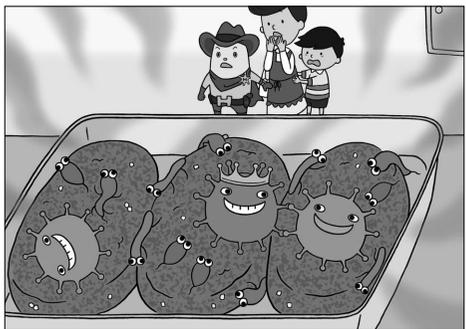
おかあさんが、ケチャップがないことに気づきました。

(ピカルくん) 「あっー買ったの忘れちゃったー！」

(おかあさん) 「急いで買ってこいませよ。」

あわててスーパーに買い物に行きます。

ところが、丸くしたハンバーグを冷蔵庫に入れるのを忘れてしまいました。



7

演出ノート

3人がケチャップを買って、おうちに帰ると、ハンバーグの上でそれはもうたくさんバイキングがあばれまわっていました。冷蔵庫に入れるのを忘れたせいで、あたたかくなって、バイキングが目を覚ましてしまったのです。

(バイキング) 「キッシッシィー

おなかを痛くしてやるぞおー！」

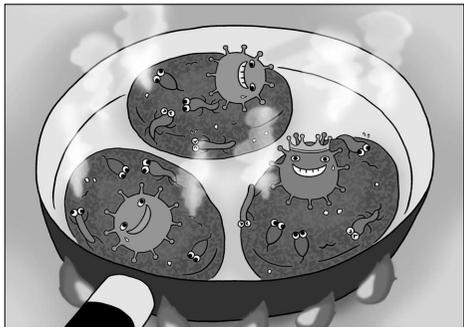
バイキングたちが分身の術でどんどん増えていきます。

(ピカルくん) (おかめん) 「キャー！ハサップマンたすけてー！」

叫ぶ声

(ハサップマン) 「バイキングはあついに弱いんだ。

フライパンで焼いてしまおう。」



8

演出ノート

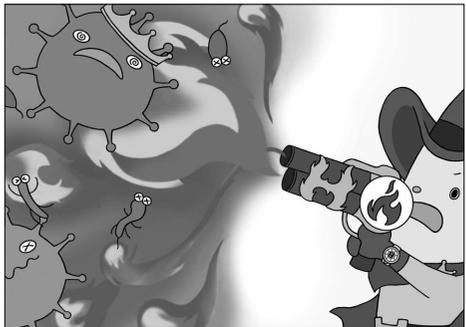
あわててフライパンで焼いています。  
ところが、火が弱くてバイキングをなかなかやっつけられません。

(バイキング) 「ヨロヨ。このパンのあつちをなほ平気せー」

わんぱくに

(ピカルくん) 「ふっふふ、ハサミパン」

このままでは、みんなのおなかが痛くなってしまう。



9

(ハサップマン)

「おおっ、っっっっっ奥の手だー！  
うおお〜〜！シールファイヤーー！」

演出ノート  
力強く

シールファイヤーはたべものをすべにまじへてくれる  
ハサップマン必殺の銃です。

(バイキンガー)

「っ、っわあ〜あし〜。  
も、もつだめだあ〜やられた〜。」

こうしてバイキンガーたちはみんないなくなりました。

(ピカルくん)

「おっいやハサップマンー！  
助けてくれてありがとう。」

(おかあさん)

「ハサップマンがきてくれて  
ほんとうに助かったわ。」

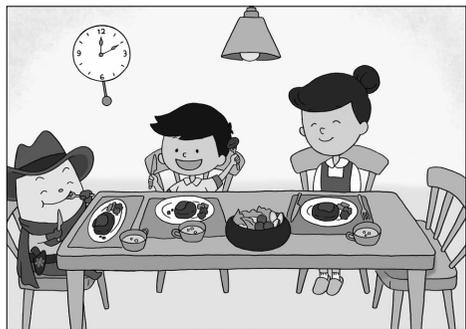
(ハサップマン)

「ふっっっっっ。  
バイキンガーはあつのに一番よわいんだ。  
ちゃんと中まで焼いたらやつっけることが  
できるんだよ。」

もっピカルくんはぼくがいなくても  
バイキンガーをやっつけることができるよね？  
ぼくとっしょにバイキンガーをやっつけて  
たべもの安全を守ってっっっっっー！」

(ピカルくん)

「っ、っ わかったーぼくがとぼるよー！」



10

こうしてハサップマンのおかげでおなかが痛くなることもなく、  
みんなでおいしいハンバーグをたべることができました。  
ハサップマンのたたかいはこれからも続きます。

おしま



# おとな 大人のみなさまへ

和歌山県では、ハサップ（HACCP）などの高度な衛生管理のもとで食品を生産や製造・加工している食品事業者を認定・認証しています。

認定・認証を受けた施設に関する情報は、下記ホームページをご覧ください。

※ハサップ（HACCP）とは安全な食品をつくるための高度な衛生管理方法のことを言います。

原材料の受入れから製品の出荷までの工程において、あらかじめ分析した危害を排除していく考え方です。

(ホームページ)

<http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/031600/producer/index.html>

か こうしょくひん  
加工食品はこちら→



せい せんしょくひん  
生鮮食品はこちら→



しよく あんぜん  
食の安全 わかやま けんさく  
検索



1

ハサップマンはたべものの安全を守るヒーロー。  
いつも大忙しです。

今日はヒカルくんのおうちで一緒にハンバーグを作ります。  
「ピンポン。」おうちのインターホンが鳴りました。

(ヒカルくん) 「ハサップマン迎えにきたよ。」

ヒカルくんとおかあさんが迎えにきてくれました。

(ハサップマン) 「やあーヒカルくん。まっけたよ。  
それじゃあいごじか。」

3人でヒカルくんのおうちに向かって歩き始めました。

(ヒカルくん) 「今日の買い物、ぼくがしたんだよ。  
ハンバーグたのしみだね。  
あれ？ハサップマン、それはいったい何なの？」

そう言ってハサップマンが左手につけている時計のようなものを  
指さしました。

(ハサップマン) 「これは バイキングウォッチャーだよ。  
このボタンを押して光を当てると  
いつもは目に見えない バイキングが  
見えるようになるんだ。見てごらん。」

ハサップマンはボタンを押してヒカルくんの手に光を当てました。  
tonen...

演出ノート

ハサップマンとバイキング

平成28年10月発行  
発行／和歌山県

※この紙芝居を無断で複写・転写することは、  
法律で認められた場合を除き、著作権の侵害  
となります。